

第 4 回図書館協議会 (30.3.28)

平成 29 年度 2 月議会報告

*一般質問 (平成 30 年 2 月 7 日から 2 月 8 日まで)

無所属 松中健治議員

- ・近代鎌倉の歴史を伝えるために、鎌倉中央図書館に保管された近代資料等を活用して調査・研究を行い、将来的に「郷土館」をつくるべきであると考えているがどうか。

*代表質問 (平成 30 年 2 月 16 日から 20 日まで)

鎌倉のヴィジョンを考える会 中村聡一郎議員

- ・マラケシュ条約に向けた、情報アクセスへの保障における現状と方向性はどのようなものか。

日本共産党鎌倉市議会議員団 高野洋一議員

- ・玉縄図書館の開館時間縮減等の試行と利用者へのアンケート結果を受け、市民サービスを削減してまでの正規職員の削減は適切ではないことを指摘した。その後の検討経過と来年度からの運営体制について基本的な考え方を伺いたい。

- ・図書館の次期サービス計画の策定にあたっては、市民の声を最大限いかした検討が大切だと考える。具体的な検討の場の設置を含めた対応を求めるがいかかか。

鎌倉みらい 池田実議員

- ・近代史資料室の業務については、資料の整理が重要であるが、現在の体制では近代資料室嘱託員 1 人にかかる負担が大きいことから職員の充実を図って欲しいが如何か。

*教育こどもみらい常任委員会 (平成 30 年 2 月 22 日)

図書館から「第 3 次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について」と「非常勤嘱託員を中心とした体制と開館時間の延長の試行結果と平成 30 年度以降の図書館運営体制について」を報告し、それに関して審議された。

鎌倉のヴィジョンを考える会 河村 議員

- ・マラケシュ条約批准に向けた障害者サービスの充実について

無所属 千一議員

- ・鎌倉市図書館における、正規職員、非常勤嘱託員の司書資格の取得率はどれくらいか。

以上の質疑ののち、「第 3 次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について」と「非常勤嘱託員を中心とした体制と開館時間の延長の試行結果と平成 30 年度以降の図書館運営体制について」の報告事項は了承された。

*平成 30 年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会（平成 30 年 3 月 6 日）

神奈川ネットワーク運動・鎌倉 保坂令子議員

- ・平成 29 年度に鎌倉市図書館で試行を行ったが、平成 30 年度も同じような試行を実施するのか。